

# 対馬高校との交流会

バイオ園芸科 11月11日

先日、バイオ園芸科の生徒で活動をする「生物工学部」と対馬高校とのオンラインでの交流会が行われました。

バイオ園芸科では、対馬市との協定を締結し対馬に自生する黄金オニユリの増殖を行っています。年々動物の被害等で激減している為、対馬高校も黄金オニユリを増やしたいとのことから交流会が実現しました。

## 長崎新聞の記事



ウェブカメラ活用

### オウゴンオニユリ 研究発表

対馬原産のユリ科の珍種「オウゴンオニユリ」の研究などに約30年前から取り組む県立諫早農業高と、今年からオウゴンオニユリの栽培を始めた県立対馬高が10月20日、テレビ会議形式で交流した。県教委によると、県内での県立高同士のオンライン交流は初めて。

オンライン交流には、諫早農業高生物工学部の12人と、対馬高ユネスコスクール・科学部の7人が参加。諫早農業高の生徒がカメラの前でこれまでの研究の成果を発表し、具体的な栽培方法などを説明した。対馬高側からは温度管理などについて質問が寄せられた。

諫早農業高2年で生物工学部の石丸陽翔部長(16)は「絶滅の危機がある植物を増やす手助けが出来ることは誇り」と話した。

2校は今後もオンライン交流を継続する予定。諫早農業高は今年も球根約300球を対馬市に贈ることになっている。(江崎博子)

カメラの前で株分けの方法などを説明する生物工学部メンバー  
|| 諫早市立石町、諫早農業高

諫早農高 対馬高

### テレビ会議形式で初交流



